



野木小学校だより

野ぎくの子

校長室から 2023/6/23

2023年度 学校教育目標

「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」

【めざす児童像】

よく考える人・自分や人を大切にする人・チャレンジする人



がんばった体育大会

6月3日には、野木地区総合体育大会が行われました。台風の影響により強風の中ではありましたが、児童は練習の成果を発揮して、競技に応援に素晴らしいパフォーマンスを披露しました。

体育大会は、単に運動能力を競う行事ではなく、縦割り活動などを通して、主体的な行動力・責任感・協調性などを育て達成感や充実感を味わわせることに大きな目的があります。特に6年生はオリジナルキャラクターによる団旗作り、応援合戦の計画や練習などでリーダーシップを発揮するなど、所期の目的を十分に達成することができました。

準備、運営でお世話になった野木地区体育協会の皆様方には心より感謝申し上げます。



書写学習 お世話になってます！

書写の学習では、書写指導員の池野やな枝先生（おおい町在住）に指導をしていただいています。（1・2年の硬筆では年間3回、3年生以上の毛筆では年間7～8回）

池野先生は書道の達人で、授業の初めにお手本の美しい字を書かれると、周りで見ている児童から感嘆の声が上がります。毎回、きめ細かなお手本を準備して下さるとともに授業中にはポイントを押さえた指導と、良い点をほめていただくことにより、グングンとうまく書けるようになっていくのが分かります。技能的な学習において、専門の先生から丁寧に教えていただけるのは本当にありがたいことです。

池野先生からのメッセージ



縁あって野木小学校に来させてもらうようになって、早6年目になります。この間、先生方、児童の皆さんには、とても温かく迎えていただき、楽しく授業に参加させていております。

私は、自分なりに字が上手くなるコツとして、「話をしっかり聞く」「よく見る」「たくさん書く」の3つだと伝えてきたのですが、授業の初めに私が実際に書くのを囲んでもらうと、この「聞く」と「見る」がどの学年もしっかりできていて、とても嬉しく思います。

すばらしい集中力で、素直に取り組んでくれますので、上達が見えた時はほめまくりです。また、感動して担任の先生と思わずガッツポーズをすることもしばしば。地域性、先生方の教え方に感心しながら、日々私も勉強させてもらっています。

～7月のおもな行事予定～

- 7月10日（月） 4年生あいさつ運動週間（～15日）
- 7月15日（土） 1学期末教育懇談会 10：00一斉下校
- 7月17日（月） 海の日
- 7月18日（火） 15日の振替でお休み
- 7月19日（水） 給食この日まで
- 7月20日（木） 第1学期終業式 11：30一斉下校
- 7月21日（金） 夏季休業（8月29日まで） プール開放開始（8月2日までの平日）
- 7月25・26日（火・水） 自然教室（5年生）国立若狭湾青少年自然の家
- 7月29日（土） 県PTA活動地区別研修会（育友会長、副会長参加）プラザ萬象



御奇贈ありがとうございました

野木地区体育協会（会長 宮川孝三さん）よりテント用のおもり10個と小型簡易テント1張を寄贈していただきました。テント用のおもりは1個20kgあります。今までは、くいを打ちつけたり、土のう袋をつないだりしていましたが、このおもりのおかげでより簡便に安全が確保できるようになりました。今後、体育大会や陸上記録会などで有効に活用させていただきます。

高価な品物をありがとうございました。



(6月の校長講話) 6月20日

4月に1年生が校舎見学で校長室に来た時に、ロケットの発射台を見つけて、「これは何？」と聞いてくれました。その時にいつかロケットを打ち上げることを約束していました。そこで今日は全校のみなさんの前で打ち上げたいと思います。まずは、ロケットについてのお話をします。

日本のH2-Aというロケットの高さはとても大きく高さは60mくらいあって、野木小学校の校舎4つ分くらいの高さです。ロケットの横についている小さな固体燃料ブースターだけでも15mくらいあって野木小学校の校舎よりも高いです。ロケット本体の大部分は燃料で、エンジンでこの燃料を燃やすことによって重いロケットが宇宙まで飛んでいきます。そして、宇宙で人工衛星が切り離されるのです。人工衛星は、雲の様子を観測したり、GPSといってカーナビなどで位置を知らせてくれたり、軍事用の偵察に使われたりします。

【以下、実験の概要】

- ① 台車と重い石や軽い石を使った実験で、ロケットが飛ぶ原理と「推力」について説明。ロケットを遠くまで飛ばすには、必要最小限の燃料を積むことと機体を軽くすること、そして小型で強力なエンジンが必要であること、燃料を使い切ったら、機体を軽くするために固体燃料ブースターや液体燃料タンクなどは切り離されることなどを説明。
- ② まずはペットボトルロケットに空気だけを入れて発射を何回か試みたが失敗。空気入れを交換してもうまくいかなかった。機体もしくは発射台に問題があると考えられる
- ③ 火薬燃料による小型モデルロケット打ち上げ。垂直に推定高度100m以上まで上がり、パラシュートで降下中、強風に流され、屋上を越えて田んぼの方に着地したと思われ、何度も捜索したが見つからず、残念ながら機体を回収することはできなかった。この後、さらに強力な火薬（理論上の飛行高度は335m）を使って、再度の打ち上げを計画していたがやむなく断念。
- ④ ペットボトルロケットは失敗の原因を究明して、1学期中に打ち上げることを約束し、断腸の思いを抱えて、この日のミッションを終了した。



校長のおすすめマンガ

『宇宙兄弟』 小山宙哉
(既刊42巻)

